

# 平成30年度事業報告

本協会は、「産業廃棄物の排出事業者と処理業者が連携して、産業廃棄物の適正な処理及び再生利用の普及、拡大及び定着を促進し、資源循環の推進による産業の健全な発展並びに公衆衛生の向上、生活環境の保全を図り、もって循環型社会の構築及び県民の福祉の向上に寄与すること」に目的を変更し、4月1日に、「一般社団法人 千葉県産業廃棄物協会」から「一般社団法人 千葉県産業資源循環協会」に名称も変更した。

平成30年度は、その初年度に当たり、事業計画に基づき、適正処理の推進や環境学習の普及促進、労働災害防止計画の着実な進捗などに重点を置き、次のとおり各事業を実施した。

## 自主事業部門（継続事業1）

### 1. 調査研究・広報事業

- ① 各種印刷物等の配布、ホームページへの掲載、委員会・部会・講演会等を通じ、随時、会員に法改正・行政施策の情報提供を行った。
- ② 産業廃棄物管理票（マニフェスト）について情報提供を行った。
- ③ 「ヒヤリ・ハット」事例の収集を継続的に行い、平成30年10月末までに収集した事例をホームページ及び会報（2019冬号）に掲載するとともに、「平成30年 ヒヤリ・ハット事例」を会員に送付するなどして、その活用を促した。

### 2. 労働安全衛生推進事業

平成29～31年度を実施期間とし、死傷者数を平成24～26年の平均に比して、20%以上減少させることを目標とする「労働災害防止計画」の着実な進捗を図るため、千葉労働局をはじめ、関係する機関と連携を取りながら、労働災害防止に向け取り組んだ。

さらに、労働災害防止のための研修会等を開催するとともに、千葉県内の労働災害の発生状況等について情報収集・取り纏めを行い、ホームページに掲載するなど、会員企業だけに留まらず、広く安全衛生に関する情報提供に努めた。

### 3. 研修事業

#### (1) 協会独自の研修会等

KYT（危険予知訓練）研修会

開催日 平成30年10月30日（火）

場 所 千葉県自治会館

参加者 43名

講 師 中央労働災害防止協会 関東安全衛生サービスセンター

専門役・安全管理士 佐藤 友重 氏

専門役・安全管理士 須田核太郎 氏

#### (2) 許可申請に関する講習会等

（公財）日本産業廃棄物処理振興センターが実施する平成30年度許可講習会等について、受付業務及び運営業務を通じて開催に協力した。

##### ① 産業廃棄物処理業の新規許可申請に関する講習会

課 程	開 催 日	会 場	受講者数
収集運搬	平成30年7月12日（木）～13日（金）	千葉県自治会館	137名
収集運搬	平成30年11月27日（火）～28日（水）	千葉県自治会館	140名
処 分 （うち収集同時）	平成30年12月11日（火）～14日（金）	千葉県自治会館	91名 (66名)
収集運搬	平成31年3月12日（火）～13日（水）	千葉県自治会館	143名

##### ② 産業廃棄物処理業の更新許可申請に関する講習会

課 程	開 催 日	会 場	受講者数
処 分 （うち収集同時）	平成30年5月22日（火）～23日（水）	千葉県自治会館	134名 (67名)
収集運搬	平成30年5月24日（木）	千葉県自治会館	145名
収集運搬	平成30年7月10日（火）	千葉県自治会館	139名
収集運搬	平成30年9月12日（水）	千葉県自治会館	144名
収集運搬	平成30年11月29日（木）	千葉県自治会館	123名
収集運搬	平成30年12月17日（月）	千葉県自治会館	60名
収集運搬	平成31年1月23日（水）	千葉県自治会館	80名
収集運搬	平成31年3月14日（木）	千葉県自治会館	146名

③ 特別管理産業廃棄物処理業の新規許可申請に関する講習会

課 程	開 催 日	会 場	受講者数
処 分 (うち収運同時)	平成30年6月18日(月)～22日(金)	千葉県自治会館	62名 (55名)

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会

開 催 日	会 場	受講者数
平成30年 5月25日(金)	千葉県自治会館	142名
平成30年 7月11日(水)	千葉県自治会館	142名
平成30年 9月13日(木)	千葉県自治会館	142名
平成30年 11月30日(金)	千葉県自治会館	140名
平成30年 12月18日(火)	千葉県自治会館	138名
平成31年 1月24日(木)	千葉県自治会館	137名
平成31年 3月15日(金)	千葉県自治会館	141名

(3) その他研修

(公社)全国産業資源循環連合会が主催した「産業廃棄物処理実務者研修会－基礎コース」の開催に協力した。

開催日 平成30年7月19日(木)

場 所 千葉県自治会館

参加者 85名

内 容 ・産業廃棄物処理の基礎  
 ・産業廃棄物の委託処理と委託契約  
 ・産業廃棄物管理票・帳簿

講 師 (公社)全国産業資源循環連合会 講師 村田 弘 氏

(公社)全国産業資源循環連合会 講師 渡辺 一法 氏

4. 適正処理及びリサイクル等普及推進事業

(1) 相談指導事業

- ① 産業廃棄物の適正処理のため、電話等による相談に応じた。処分先の間合せについては、協会ホームページの「業者検索システム」を活用し会員処理業者を斡旋した。
- ② 各種許可、届出手続き等について、随時相談に応じた。

## (2) 広報啓発事業

- ① 安全に対する意識を高めるために「安全標語」の募集を行ったところ、182点の応募があり、審査の結果、「昨日より 1つ減らそう危険の芽 毎日続けて0災達成」が最優秀賞に選ばれた。今後、協会ホームページのトップページに掲載するなど、協会の各種広報活動に使用していく。
- ② 「協会報」(2018 夏号、2019 冬号) を発行し、会員、関係官公庁、各種団体、各都道府県協会、排出事業者等に配布し、協会の活動状況、関係行政機関の通達、産業廃棄物処理に関する情報提供を行った。
- ③ 協会ホームページの内容を充実させ、排出事業者等に最新の情報提供を行った。  
【URL : <http://www.chiba-sanpai.or.jp>】
- ④ 千葉県環境生活部廃棄物指導課等監修による「産業廃棄物処理業の手引き その27」を産業廃棄物処理業者及び排出事業者等に頒布した。
- ⑤ 日本建設業連合会等発行「建設廃棄物処理委託契約書」等、出版物を有償頒布した。
- ⑥ 各種新聞、刊行物への広告及び掲載記事等を通じて協会活動の広報啓発を行った。
- ⑦ 「千葉県産業資源循環協会」名入りのリサイクルシャープペンシルとリサイクル定規を作成し、環境学習関係者、施設見学会やKYT研修会参加者等に配布して、協会の名称変更の周知とともに3R活動の啓発も行った。
- ⑧ 第13回夏休みエコ絵画コンクールに協賛した。
- ⑨ 「エコメッセ2018in ちば」に協賛、出展した。  
開催日 平成30年10月8日(月・祝)  
場 所 幕張メッセ国際会議場  
内 容 飲み終えた牛乳パックで簡単に可愛い鉛筆立てを工作
- ⑩ 第18回千葉県廃棄物適正処理推進大会  
千葉県廃棄物適正処理推進大会に実行委員会の一員として参画した。  
開催日 平成31年1月24日(木)  
場 所 千葉県教育会館  
内 容 <演奏会> (平成30年度県民芸術劇場公演)  
～めぐる旋律 未来へつながるハーモニー～  
出演 千葉交響楽団メンバーによる木管五重奏  
<表彰式典> 当協会からは下記の7名が表彰された。  
千葉県循環型社会形成推進功労者等表彰

『千葉県知事感謝状』

鈴木 洋一 氏（高俊興業（株））

朝生 浩幸 氏（千葉オイレッシュ（株））

『千葉県環境生活部長感謝状』

高橋 政行 氏（船橋興産（株））

水内 郁夫 氏（株京葉興業）

横川 守 氏（ジャパングリーンテック（株））

青山 健 氏（杉田建材（株））

小関 光治 氏（株カンナ）

参加者 240人

主催 千葉県廃棄物適正処理推進大会実行委員会

（構成員）（一社）千葉県産業資源循環協会・千葉県環境衛生促進協議会・  
千葉県産業廃棄物処理業協同組合・（一財）千葉県環境財団・  
（一社）千葉県環境保全協議会・（一社）千葉県建設業協会

後援 千葉県、千葉市、船橋市、柏市

協賛 （一社）千葉県浄化槽協会・（一社）千葉県環境保全センター

⑩ 県民講座として、一般県民を対象とした施設見学会を開催した。

開催日 平成30年12月6日（木）

場所 JFE環境（株） ア．鶴見蛍光灯リサイクル工場

イ．横浜プラスチックリサイクル工場

参加者 20名

### （3）産業廃棄物管理票（マニフェスト）等普及推進事業

① （公社）全国産業資源循環連合会発行の『産業廃棄物管理票（マニフェスト）』及び建設六団体副産物対策協議会発行の『産業廃棄物管理票 建設系廃棄物マニフェスト』を有償頒布した。その他、「マニフェストシステムがよくわかる本」を有償頒布し、産業廃棄物管理票の普及と適正処理の推進を図ったほか、記載方法等の問い合わせに応じた。

・マニフェスト頒布数

『産業廃棄物管理票（マニフェスト）』

直行単票 102,850セット（前年度：98,060セット）

直行連続 159,500セット（前年度：160,000セット）

積替単票 2,370セット（前年度：1,760セット）

積替連続 4,500セット(前年度:6,000セット)

計 269,220セット(前年度:265,820セット)

『産業廃棄物管理票 建設系廃棄物マニフェスト』

建設単票 132,270セット(前年度:154,770セット)

建設連続 164,500セット(前年度:170,000セット)

計 296,770セット(前年度:324,770セット)

合計 565,990セット(前年度:590,590セット)

② (公社)全国産業資源循環連合会との電子マニフェスト運用支援業務委託契約に基づき、『操作体験セミナー』を実施し、電子マニフェストの普及、拡大を図った。

○ 第1回 開催日 平成30年10月 3日(水)

場 所 千葉県生涯学習センター

参加者 18名

○ 第2回 開催日 平成31年 2月 6日(水)

場 所 千葉県生涯学習センター

参加者 16名

#### (4) 災害廃棄物処理支援

該当事案なし

#### (5) 排出事業者セミナー

排出事業者の実務に役立つ情報を提供する機会として、第3回排出事業者セミナー「企業のための廃棄物処理セミナー」を開催した。

開催日 平成31年2月13日(水)

場 所 千葉スカイウィンドウズ東天紅

参加者 88名

内 容 ・廃棄物処理法の排出事業者責任について

講師:千葉県環境生活部 廃棄物指導課 副主査 宮澤 利幸 氏

・石綿に関する最近の動向について

講師:千葉労働局 労働基準部 健康安全課

地方労働衛生専門官 鈴木 毅 氏

・不適切な搬入物の処理事例紹介

講師:高俊興業(株)

常務取締役

大賀 実 氏

・特殊な廃棄物等処理マニュアルについて

講師：一般社団法人 日本建設業連合会

環境委員会建築副産物部会委員 中嶋 純 氏

## (6) 優良産廃処理業者認定制度の普及促進

ホームページ等による情報提供等を通じて、廃棄物処理法の優良産廃処理業者認定制度の普及促進に努めた。

## 5. 環境保全対策事業

不法投棄等の不適正処理による支障除去に対する支援等については、該当事案がない。

## 6. 環境学習普及促進事業

学校教育において、資源循環をテーマとする環境学習の普及促進を図るため、環境学習普及促進特別委員会を設置し、検討を進め、30年度は、千葉市立登戸小学校において、環境学習授業を行った。

登戸小学校の4年生（3クラス、74人）の社会科の授業として、秋に市のゴミパッカー一車が各小学校を廻って行われる「分別スクール」や市清掃工場見学の前と後に、各クラス1時限ずつ合せて2時限の授業を行うことで、小学校と日程や授業進行計画の検討・調整を進めた。

また、授業を円滑に行うため、夏休み中の8月20日には、協会会議室において、千葉アミカルスポーツクラブの小学4、5年生を対象に、小学校での授業と同様に1時限45分間の「模擬授業」を2時限分行った。「模擬授業」終了後には、授業を参観した、登戸小の校長先生、教頭先生や高山環境学習アドバイザーを交えて特別委員会を開催し、授業の進め方やプラスチック再生原料（ペレット等）などの実物教材の扱い方について改善すべき事項等について検討を行った。

その後も検討を続け、登戸小の4年生のクラス担当の先生方の助言・協力も得て、9月26日（水）に環境学習の「導入部の授業」を実施し、分別スクール及び市清掃工場見学の11月2日（金）に「まとめの授業」のあわせて2回の環境学習授業を行った。

## 受託事業部門（継続事業2）

### < 県内産業廃棄物処理業者育成事業 >

#### 1. 産業廃棄物処理業者セミナー業務（千葉県・千葉市・船橋市・柏市委託事業）

産業廃棄物処理業者セミナーを、下記のとおり実施した。

開催日 第1回 平成30年 9月 6日（木）

第2回 平成30年11月 7日（水）

場 所 青葉の森公園芸術文化ホール

内 容 ・指導の状況と注意点について

講師：（第1回）千葉県環境生活部 廃棄物指導課 監視指導室

技 師 齋藤 圭吾 氏

（第2回）千葉県環境生活部 廃棄物指導課 監視指導室

主 事 石毛 悠 氏

・優良産廃処理業者認定制度について

講師：千葉県環境生活部 廃棄物指導課 産業廃棄物指導室

副主査 小林 祥一朗氏

・産業廃棄物適正処理に関する通知について

講師：千葉県環境生活部 廃棄物指導課 指導企画班

副主査 宮澤 利幸 氏

・廃棄物・リサイクルに係る国内外の動向

講師：（公財）廃棄物・3R研究財団

調査部長 藤波 博 氏

参加者 第1回 360名

第2回 309名

#### 2. 許可申請に係る相談業務（千葉县委託事業）

産業廃棄物収集運搬業（積替・保管を除く）の新規・更新・事業範囲変更の許可申請に係る相談、優良認定制度に係る相談を実施した。

許可申請に係る相談時に、「水銀廃棄物の適正処理の推進のためのパンフレット」（環境省作成）とリーフレット「産業廃棄物の種類」を配布し、水銀廃棄物の取扱いについて周知徹底を図るとともに、適正処理とコンプライアンスの確保を呼び掛けた。

・新規許可に関する説明会 23回開催 出席者 39名

・新規許可申請 750件進達 延べ 1, 295件相談



・変更許可申請	1 3 4 件進達	延べ	2 3 0 件相談
・更新許可申請	1, 5 0 5 件進達	延べ	2, 1 7 4 件相談
・変更届出書	8 8 3 件進達	延べ	1, 1 8 2 件相談
合 計	3, 2 7 2 件進達	延べ	4, 8 8 1 件相談
・優良産廃処理業者認定制度に係る相談			5 2 件
・更新手続きの通知			1, 9 1 0 件

## 県収入証紙売捌き事業部門（収益事業）

産業廃棄物処理業許可申請に当たって県に手数料を納付する申請者の便宜を図るため、県から「県収入証紙売捌き所」の指定を受けて、県収入証紙を購入して、有償頒布（売捌き）をした。

## 法人管理等部門

### 1. 委員会、部会及び支部等の活動

廃棄物処理関係法令などの改正並びに業界の環境変化に迅速的確に対処し、会員の意見や要望に応え得るよう、それぞれの問題について協議するため次のとおり開催した。

#### （1）委員会

##### ① 総務企画委員会

平成31年度事業計画及び予算について、現状に対応した事業内容の見直しや新規事業について検討した。

##### ② 広報研修委員会

本年度の研修事業計画について協議し、産業廃棄物処理業者セミナーのカリキュラム等について検討を行ったほか、県外視察研修を実施した。

##### ③ 適正処理推進委員会

優良事業所及び優良従事者の選考、第18回千葉県廃棄物適正処理推進大会における被表彰候補者の選考を行った。また、優良従事者表彰規程を見直し、対象者の選考範囲の拡大を図った。

##### ④ 安全衛生推進委員会

安全衛生研修事業、ヒヤリ・ハット事例の収集および労働安全に関する表彰の

選考について協議し、事業を実施した。

## (2) 部 会

### ① 合同部会

開催日 平成30年11月13日(火)  
場 所 三井ガーデンホテル千葉  
参加者 67名  
内 容 講演及び意見交換

「中国による廃プラスチック類資源ゴミ輸入禁止の影響と今後の展望について」

講師：環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課  
課長補佐 工藤 俊祐 氏  
主 査 服部 弘 氏

### ② 最終処分部会

開催日 平成30年11月13日(火)  
場 所 協会 会議室  
参加者 21名  
内 容 講演

「産業廃棄物埋立処分委託契約書標準様式について」

講師：(公社) 全国産業資源循環連合会  
調査部長兼事業部長 香川 智紀 氏

### ③ 建設廃棄物部会

混合廃棄物分科会を協会会議室で5回開催し、処理困難物の対応等の課題を協議した。また、再生砕石分科会を開催し、千葉再生砕石事業協同組合と意見交換を行った。

### ④ 賛助会員建設部会

#### ア. 総 会

平成30年7月11日(水)、「三井ガーデンホテル千葉」において、平成30年度建設部会総会を開催し、平成29年度事業報告、平成30年度事業計画について承認された。

議事終了後、平成30年4月20日付け通知「建築物に係る石綿の事前調査における主な留意点について」のポイントと解説及び意見交換を行った。

イ. 正・副部会長会議

第1回 平成30年 6月 6日 (水) 協会役員室

第2回 平成30年11月14日 (水) 協会役員室

第3回 平成31年 3月13日 (水) 協会役員室

ウ. 第3回排出事業者セミナー (協会と共催)

開催日 平成31年2月13日 (水)

開催場所 千葉スカイウィンドウズ東天紅

参加者 計88名 (建設業46名 (うち賛助会員22名))

(3) 支部会議

支部における諸問題を協議し、会員相互の情報交換、意見交換を行い、行政当局に対する要望事項をまとめた。各支部とも会議終了後、出席者による懇親会を開催し、会員相互の親睦を図った。

① 中央支部会議

開催日 平成30年8月 1日 (水)

場 所 三井ガーデンホテル千葉

参加者 39名

② 西支部会議

開催日 平成30年8月 3日 (金)

場 所 船橋グランドホテル

参加者 52名

③ 南支部会議

開催日 平成30年7月31日 (火)

場 所 五井グランドホテル

参加者 39名

【共通議題】 ○講演

「全国産業資源循環連合会の活動について」

講師：(公社) 全国産業資源循環連合会

総務部 担当部長 古川 洋一 氏

○意見交換

ア. 行政又は協会に対する意見・要望事項について

イ. その他

### ○その他連絡事項

- ア. 産業廃棄物処理業者セミナーの開催について
- イ. 「ヒヤリ・ハット」事例の収集について
- ウ. KYT研修会の開催について
- エ. 平成30年 安全標語について
- オ. 労働安全に関する表彰について
- カ. 安全衛生の取り組みについて
- キ. 千葉県産業廃棄物処理業協同組合への加入について
- ク. その他

## 2. 関係機関、団体との連携、協力

### (1) 行政との連携、協力

- ① (公社)全国産業資源循環連合会を經由して主に環境省から提供される行政情報を、協会ホームページに掲載し又は直接会員等に配布して、情報提供を行った。
- ② 千葉県環境生活部廃棄物指導課とは、支部会議等各種会議に担当者の出席を得るなど日常的に意思疎通を図った。
- ③ 千葉県環境生活部循環型社会推進課とも共催事業の打合せを行うとともに、災害協定や環境基本計画などについて随時、意見交換を行った。
- ④ 環境行政の推進に当たり、県及び柏市からの推薦依頼を受け、千葉県環境審議会委員として杉田会長が、柏市廃棄物処理清掃審議会委員として木村専務理事が就任し活動した。
- ⑤ 行政懇談会  
産業廃棄物の適正処理を推進するため、日常から行政に協力するとともに、千葉県及び3市と行政懇談会を開催し意見交換を行った。提案要望及び協議した事項は次のとおりである。

開催日 平成30年12月19日(水)

場 所 ホテルポートプラザちば

参加者 36名

内 容 ○意見交換

ア. 「千葉県環境基本計画(案)」について

イ. 許可更新手続きの迅速化について

ウ. 「千葉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱」について

エ. 「地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定」

について

オ. その他

⑥ 廃棄物のリサイクル推進マッチングセミナー

千葉県、(一社)千葉県環境保全協議会との共催により、廃棄物のリサイクル推進のための排出事業者と処理業者とのマッチングセミナーを開催した。

開催日 平成31年1月21日(月)

場 所 千葉県教育会館

参加者 139名

○第一部 中国等による廃棄物の輸入規制等に係る影響について

1. 演題：県内の廃プラスチック類の処理状況について

講師：千葉県 環境生活部 廃棄物指導課

監視指導室 副主幹 平野 俊幸 氏

2. 演題：国内リサイクル業への影響と状況について

～中国環境規制を受けた破碎・選別上の課題等～

講師：リバーホールディングス(株)

新事業開発室 室長補佐 前田 政司 氏

3. 演題：廃棄物エネルギーの産業利用の可能性について

講師：(公財)産業廃棄物処理事業振興財団

担当部長 瀬戸 俊之 氏

○第二部 廃棄物処理業者による事業PR等

1. アンケート調査結果の概要

説明者：千葉県 環境生活部 循環型社会推進課

資源循環企画室 副主幹 三ヶ島 治子 氏

2. 事業PR

ア. (株)エコ・マイニング 代表取締役 瀬田 英博 氏

演題：RPF(古紙及び廃プラスチック等による固形燃料)の製造について

イ. エム・エム・プラスチック(株) 代表取締役 森村 努 氏

演題：プラスチック製容器包装材のリサイクルについて

ウ. (株)ダイセキ 営業課主任 大野 謙一 氏

演題：廃油、汚泥等のリサイクルについて

エ. 杉田建材(株) PCB営業部 次長 福田 晃司 氏

演題：低濃度PCB廃棄物の無害化処理について

○第三部 名刺交換会

排出事業者（71社）と処理業者（16社が各ブースで資料等を配布）との  
名刺交換及び打合せ相談

（2）他団体との連携、協力

① （公社）全国産業資源循環連合会が行う諸事業並びに各種調査研究事業に、協会  
役員が委員として参加するなど、全国産業資源循環連合会の事業推進に協力した。

② （公社）全国産業資源循環連合会等主催の「第17回産業廃棄物と環境を考える  
全国大会」に参加した。

開催日 平成30年11月16日（金）

場 所 ホテル日航金沢（石川県金沢市）

内 容 ○環境大臣表彰式典

○基調講演

AI・IoTの活用と資源循環

講師：早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科

教授 小野田 弘士 氏

○パネル討論会

資源循環の促進と排出事業者責任

コーディネーター：BUN環境課題研修事務所主宰

長岡 文明 氏

パネリスト：環境省 環境再生・資源循環局

廃棄物規制課長 成田 浩司 氏

石川県 生活環境部次長 蔵本 和夫 氏

小松マテール(株) エンジニアリング部

環境エネルギー課長 森 幸治 氏

クリーンライフ(株)

代表取締役 毎田 正男 氏

③ 関東地域の都県協会と交流を図り、（公社）全国産業資源循環連合会を通じて国等  
に対する要望活動を行うとともに、産業廃棄物に関する諸問題について協議するた  
め、次のとおり参加した。

・第60回関東地域協議会

開催日 平成30年4月20日（金）

場 所 ホテルグランドパレス（東京都千代田区）

- 議 事
- ・平成29年度事業報告
  - ・平成29年度収支決算報告
  - ・平成30年度事業計画案
  - ・平成30年度収支予算案
  - ・関東地域協議会女性部会活動報告について
  - ・次回開催地の決定

講 演 ○全産連の活動報告について

講師：(公社)全国産業資源循環連合会

専務理事 森谷 賢 氏

○産業廃棄物行政の現状と今後の展望について

講師：環境省 環境再生・資源循環局

廃棄物規制課長 成田 浩司 氏

・第61回関東地域協議会

開催日 平成30年11月22日(木)

場 所 横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ(横浜市)

- 議 事
- ・連合会報告
  - ・環境省主催「意見交換会」結果報告
  - ・女性部会活動報告
  - ・次回開催地の決定
  - ・その他

- ・建設廃棄物対策委員会を開催し、臨時に処理料金調査をした。
- ・事務責任者会議(10月、3月)、事務担当者会議(11月)に参加した。

④ 一都三県建設混合廃棄物意見交換会等に参加した。(7月、10月、3月)

⑤ 千葉県環境財団のちば環境再生推進委員会委員として杉田会長が活動した。

### 3. 新規会員の加入促進

機会を捉えて、協会役員等により、協会未加入の産業廃棄物処理業者や排出事業者に対して産業資源循環協会への名称・目的変更の趣旨や事業内容等を説明し、産業廃棄物の適正処理について協力を求めるとともに、正会員、賛助会員の加入促進を図った。

### 4. 顕彰・表彰事業

① 会長表彰として、優良事業所2事業所および優良従事者7名を協会の第6回定時総会において表彰した。

【優良事業所】 (株)市原ニューエナジー (市原市)  
新日環商事(株) (市川市)

【優良従事者】 藤田 昭浩 氏 (日曹金属化学(株))  
今井 圭一 氏 (大西総業(株))  
岩佐 義之 氏 ((株)市川環境エンジニアリング)  
高梨 洋幸 氏 ((株)日美産業)  
柘植 哲也 氏 (大平興産(株))  
林 孝志 氏 ((株)東亜オイル興業所)  
藤田 宏 氏 ((株)京葉興業)

② 会長表彰として、労働安全優秀賞5事業所、労働安全特別賞2事業所および安全標語最優秀賞1名を協会の第6回定時総会において表彰した。

【労働安全優秀賞】 (株)イケダ (館山市)  
臼井水産(有) (南房総市)  
(株)佐倉環境センター 佐倉エコ・プラント (佐倉市)  
千葉美装(株) エコRCセンター (南房総市)  
千葉美装(株) エコウッド (安房郡鋸南町)

【労働安全特別賞】 JFE環境(株) 千葉事業本部 千葉リサイクル事業部 (千葉市)  
千葉オイレッシュ(株) (君津市)

【安全標語最優秀賞】 小澤 修平 氏 ((株)市原ニューエナジー)

③ (公社)全国産業資源循環連合会会長表彰として、功労者1名、優良事業所1事業所、地方優良事業所1事業所、優良従事者6名を推薦し、全国産業資源循環連合会の第8回定時総会において表彰された。

【功 労 者】 三浦 義博 (株)京葉興業)  
【優 良 事 業 所】 (株)カンナ 建設廃材リサイクルセンター (市原市)  
【地方優良事業所】 (株)マルトシ 東金リサイクルセンター (東金市)  
【優 良 従 事 者】 高梨 俊之 氏 ((株)日美産業)  
秋山 由光 氏 (高俊興業(株))  
柳澤 誠治 氏 (大平興産(株))  
種村 聖二 氏 ((株)東亜オイル興業所)  
長山 昌弘 氏 ((株)京葉興業)  
金田 健一 氏 ((株)共同土木)

④ 環境大臣表彰として、循環型社会形成推進功労者(産業廃棄物関係事業功労者)4名を推薦し、「第17回産業廃棄物と環境を考える全国大会」において表彰された。



杉田 昭義 氏（杉田建材株）  
山本 隆 氏（株日美産業）  
大賀 実 氏（高俊興業株）  
西川 浩 氏（株市川環境エンジニアリング）

- ⑤ 安全優良職長厚生労働大臣顕彰として、坂口 浩 氏（千代田鋳研株）を推薦し、厚生労働省講堂での式典において顕彰された。

## 5. 定時総会、常任理事会及び理事会等の開催

### （1）第6回定時総会

開催日 平成30年5月30日（水）  
場 所 三井ガーデンホテル千葉  
出席者 79社 99名、委任状168社、議決権行使書36社  
議 事 <議案> 第1号議案 平成29年度事業報告について  
第2号議案 平成29年度決算について  
第3号議案 定款変更に伴う規程の一部改正について  
第4号議案 任期満了に伴う役員の選任について  
以上の議案は、原案のとおり承認された。  
<報告> 第1号 公益目的支出計画実施報告について  
第2号 平成30年度事業計画について  
第3号 平成30年度予算について

### （2）常任理事会、理事会

事業の円滑な執行等を図るため、常任理事会、理事会を開催し、協会の運営並びに当面の諸問題等に関して協議した。

平成30年 5月 9日（水）常任理事会、理事会  
5月30日（水）理事会  
同 日 臨時理事会  
6月27日（水）常任理事会、理事会  
7月24日（火）常任理事会、理事会  
9月25日（火）常任理事会、理事会  
10月23日（火）常任理事会、理事会  
11月27日（火）常任理事会、理事会  
12月19日（水）常任理事会、理事会

平成31年 1月30日(水) 常任理事会、理事会  
3月26日(火) 常任理事会、理事会

## 6. その他事業

### (1) 県外視察

第17回産業廃棄物と環境を考える全国大会に参加するとともに、千葉県産業廃棄物処理業協同組合と共催で、県外視察研修を実施した。

日 程 平成30年11月15日(木)～17日(土)  
視察先 (株)小松製作所 栗津工場(石川県小松市)  
参加者 22名

### (2) 賀詞交歓会

開催日 平成31年1月30日(水)  
場 所 三井ガーデンホテル千葉

※ 千葉県産業廃棄物処理業協同組合と共催

### 【 重要事項 】

平成30年 4月 1日 主たる事務所移転、名称の変更及び目的等の変更の登記  
平成30年 4月 1日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を千葉県知事と締結  
平成30年 4月 4日 電子マニフェスト運用支援業務委託契約を(公社)全国産業資源循環連合会会長と締結  
平成30年 6月11日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を千葉市長と締結  
平成30年 6月29日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を柏市長と締結  
平成30年 7月 6日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を船橋市長と締結

### 【 会員の変動状況 】

(平成31年3月31日現在)

種 類	期 首	入 会	退 会	期末現在	増 減
正 会 員	405	5	6	404	△1
賛助会員	35	4	3	36	1
計	440	9	9	440	0

(正会員内訳)	収集運搬のみ	214社
	中間処理のみ	36社
	最終処分のみ	3社
	収運・中間	141社
	収運・最終	3社
	中間・最終	1社
	収運・中間・最終	4社
	排出事業者その他	2社

## 【理事等】

(平成31年3月31日現在)

役職	氏名	会社名
会長	杉田昭義	杉田建材(株)
副会長	小出英昭	(株)佐倉環境センター
副会長	山本隆	(株)日美産業
副会長	大賀実	高俊興業(株)
専務理事	木村秀雄	(一社)千葉県産業資源循環協会
常任理事	新井隆太	新井総合施設(株)
常任理事	大杉仁	JFE環境(株)
常任理事	高橋政行	船橋興産(株)
常任理事	岩楯保	(株)市川環境エンジニアリング
常任理事	宮内美津子	(株)ミヤウチ
理事	野村進一	千葉オイレッシュ(株)
理事	平澤雅彦	大平興産(株)
理事	三橋謙一	(株)東興開発
理事	加瀬邦雄	(株)ナリコー
理事	安池慎一郎	(株)東亜オイル興業所
理事	池田美恵子	(株)イケダ
理事	大池秀和	エコシステム千葉(株)
理事	漢那彰健	(株)カンナ
理事	保田優太	保田産業(資)
理事	水内郁夫	(株)京葉興業
理事	小池陽二	(株)タケエイ
理事	吉田理和	(株)富澤商店
理事	伊藤公子	共同リサイクル(株)
理事	茶木原浩明	(一社)千葉県環境保全協議会
監事	手島英男	税理士法人 千葉中央会計事務所
監事	坂本剛	太陽建設(株)

## 参考

### 環境保全対策基金運営委員会

環境保全対策基金は、産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理により生じる生活環境への支障を防止し、適正処理の推進に関する事業者・県民の意識高揚を促進し、並びに産業廃棄物処理業に対する理解を広めてその健全な育成を図るための財源として設置されている。運営委員会はこの基金の適正かつ効果的な運営を図るために設置されており、次のとおり会議を開催した。

#### ○第1回環境保全対策基金運営委員会

開催日 平成30年7月24日（火）  
場 所 協会会議室  
議 事 (1) 平成30年度事業進捗状況について  
(2) その他

#### ○第2回環境保全対策基金運営委員会

開催日 平成31年1月30日（水）  
場 所 三井ガーデンホテル千葉  
議 事 (1) 平成30年度事業進捗状況について  
(2) 平成31年度事業計画（案）について

#### 【委員】

（平成31年3月31日現在）

役 職	氏 名	所 属 ・ 役 職
委 員 長	瀧 和 夫	千葉県環境審議会会長、千葉工業大学名誉教授
副委員長	志 村 勇 亮	(一財)千葉県環境財団 理事長
委 員	由 田 秀 人	(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事
委 員	旭 健 一	千葉県環境生活部 循環型社会推進課長
委 員	岩 崎 進	千葉県環境生活部 廃棄物指導課長
委 員	小 出 英 昭	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長
委 員	山 本 隆	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長
委 員	大 賀 実	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長

# 青年部会活動報告

青年部会は、処理業界の次代を担う後継者、または会社幹部として自主的な研鑽を重ねるとともに、会員の親睦を目的として43名をもって構成し、会員の増強、組織の拡大、他団体との交流及び積極的な事業実施を期して、以下のとおり活動した。

## 1. 組織の充実強化

青年部会の組織の充実のため、部会員の加入について協会の理事会、支部会議や常時協会活動を通じて新規加入の促進を図った。(4名加入)

## 2. 定時総会

第6回定時総会を平成30年4月13日(金)に開催し、平成29年度事業報告及び収支決算報告、平成30年度事業計画及び収支予算並びに役員を選任は原案のとおり承認された。

## 3. 役員会

役員会を8回(臨時含む)開催し、定時総会提案議案の審議及び青年部会の事業運営等について協議した。

## 4. 委員会

### (1) 総務企画委員会

役員選任(案)を作成し、役員会へ提案した。

### (2) 研修事業委員会

学習研修の検討を行った。

### (3) 交流事業委員会

会員の親睦、他団体との交流について検討した。

### (4) 公益事業・地域貢献委員会

社会貢献事業の検討を行った。

## 5. 他都県協会との交流

### (1) 全国産業廃棄物連合会青年部協議会

・第19回通常総会(東京都)

### (2) 全国産業廃棄物連合会青年部協議会 関東ブロック

・第14回通常総会(群馬県)

・賀詞交歓会(茨城県)

・幹事会

## 6. 研修会等

### (1) 知らないはずい 個人情報保護法 基本と対策

講師：(株)サクシード 執行役員 I T 事業部長 新井 祐介 氏

### (2) セクハラ・パワハラ等の具体例と企業・個人に求められる対応策

講師：浅田・中嶋・加藤法律事務所 弁護士 加藤 美香保 氏

### (3) 高俊興業(株)の安全の取組み

講師：高俊興業(株) 執行役員 秋山 由光 氏

安全教育部 大島 伸也 氏

## 7. 交流事業

会員間の交流・親睦を深めることを目的とし、谷川岳登山を実施した。

## 8. 千葉県中小企業団体青年中央会

総会、その他関連行事等に参加した。

## 女性部会活動報告

女性の視点からみた「環境」「廃棄物業界」「リサイクル」についての課題を協会に提案するとともに、部会員相互で情報交換し、互いの知識向上、親睦を図ることを目的として7名で構成している。

また、他団体との交流及び施設見学等を以下のとおり活動した。

### 1. 組織の充実強化

女性部会の組織の充実のため、部会員の加入について協会の理事会、支部会議や常時協会活動を通じて新規加入の促進を図った。

### 2. 女性部会

女性部会を3回、臨時女性部会を1回開催し、現在抱えている産業廃棄物問題についての話し合い、情報交換等を行った。

### 3. 施設見学

(株)小松製作所 栗津工場（石川県）の見学に参加した。

### 4. 他都県協会との交流

- (1) 関東地域協議会女性部会 総会・役員会・勉強会に参加した。
- (2) 第17回 産業廃棄物と環境を考える全国大会（石川県）に参加した。
- (3) 「e-Lady21 のつどい」（石川県）に参加した。
- (4) 関東地域交流会（群馬県）に参加した。